

## <金標準、関税、地政学的なリスクの後退と円高の重なり・・・>



(出所：オアシス)

トランプ次期大統領は、財務長官に財政規律を重視しヘッジファンド会社を経営するスコット・ベッセント氏を指名したことによって、米国債務問題の悪化が避けられるという観測が高まり、またトランプ次期大統領はメキシコ大統領と電話協議を行い移民阻止で合意した事など関税の話題には触れていない。中東ではイスラエルとレバノンの武装組織ヒズボラとの間で停戦が合意し、地政学的なリスクの後退を示している。また中国の商業銀行は金現物投資のリスク分類を引き上げ、金のポジションを増やすことができなくなっていると伝えられており、香港証券取引所の宝飾品会社の周泰福や六福の株価が30%を超える下落を見せている。また週末には、植田日銀総裁がインタビューで「一段の円安はリスクが大きい」との認識を示し、場合によっては政策変更で「対応しないといけなくなる」と強調した事から円ドルが一時149.46円まで円高が進むなど、逃避需要が後退する中で円高が進むなど金標準先物は目先11月18日の安値12750円を試す可能性が高まったと思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACAが下げながら、シグナルも下げている。RCIでは短期が下げながら、長期も切り下げるなど弱気を示唆していると思える。また日足が10日、40日移動平均線を下回るなど弱気の域を示す動きに思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,410,000 円(2024 年 12 月 2 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 12 月 2 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>